

第16回高原地区街づくり協議会議事録	
開催日時	令和2年11月30日(月) 18:30 ~ 19:45
開催場所	福住公民館
出席者	9名
欠席委員	並河会長、辻村委員、植田委員、岡田委員
事務局	岡本公室長、岩田課長、谷奥主任主事 (関係課)都市整備課：井上次長、まなび推進課：藪内係長
議事内容	
<p>1. 開会 —18時30分—</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>会長</p> <p>日中のお疲れもあるところ、委員のみなさんにはお集まりいただきまして誠にありがとうございます。みなさんにご多忙の中、お時間を取っていただいているにも関わらず私がその場に伺えなくて誠に申し訳ないですが、市内の2つの学校で新型コロナウイルスの陽性者が発生し、検査体制等も含めて対策の指揮を執っているところでございます。</p> <p>今年度に入ってから、初めての街づくり協議会でございます。コロナもございまして、なかなか皆様にご参集いただけなかったわけでございますけれども、ただこの間に高原の街づくりについては着実に地域のみなさんのご協力を得て、進んできていると思っております。かつて小規模特認校制度を導入前には30人台になっておりました小学校も、全校生徒が62名というところまで回復をいたしまして、中学校と併せれば80人規模になります。これを来年の4月よりいよいよ、小中一貫校ということで運用していこうという段階でございます。また、移住定住促進につきましても、9月に2世帯お越しいただいて、また今月1世帯下入田の方に来られた訳ですが、主に高原地区で活動を活発にやっていたという森のようちえんの関係の皆さんを中心に、また、移住促進のためにご活躍いただいている椽のメンバーにも大変ご貢献いただきまして、家族で福住に移っていただけるという流れもできて参りました。そういった中で、区長会の方に私もお伺させていただきまして、今日も山下会長をはじめ三役お越しいただいているかと思いますが、なかなか区長会にも進捗をお話できていなかったなか、地域の皆さんには聞いてないんじゃないか、どういう意図があってやっているのかわからない、という点もあったかと思いますが、一通りご説明をしてきたところでございます。今日は、区長会では全般的な説明に留まってしまいましたが、実際に椽のプロジェクトでどういう方がお越しいただいて今どんな感じであるとか、あるいは森のようちえんの皆さんの実際の活動の中身・状況、あるいは山田公民館でやらせていただいておりますてんり高原マルシェ、それもコロナで一旦中止をしている期間がありましたけれども、今感染対策をしながら再開をさせて頂いている状況でございます。また引き続いて移動販売についても順調に推移しておりますし、そしてコミバスの高原地区への延伸もこの10月から始まっているところでございます。ぜひ今日は議会の</p>	

方、各有識者の皆様、地域の活性化の関係の皆様等々、お集まりをいただいておりますので、この間の進捗について皆さんとしっかり共有をさせて頂きながら、地域の皆さんの目線から見て、あるいは、他地域の活性化事例から見て、こういう点をより一層我々も一緒にやっていけばいいんじゃないかというご示唆をいただければというふうに思っております。そして最後に今はまだ進捗をご説明する状態にまで進んでいませんが、福住中学校でございます。こちらは小学校の方に一貫校で統合した後、中学校の校舎自体は4月以降空いた状況になってしまいます。これを昨年度から町から町へに、我々も財政難でなかなか市直営という形ではいきませんが、民間の活力を活かしながら上手く使っていただけるような提案があったら、ぜひお貸ししたいということで広く声をかけていっております。私の方からも、県の東部・南部に携わっておられる部署ですとか、あるいは市内に限らず広く、コロナ禍で移住に関心を示しておられる企業さんもありますので、今十数社くらいは見に来てはいただいている状況でございます。ただ、まだ実際に地元、この方がこういう活用をされますというところまでお話できる状況には進んでおりませんので、それが共有できる段階になりましたらまた皆さんの日程をいただいて、この街づくり協議会でも、あるいは地元の区長会の方でも、市としてはこういう活用を考えているということをごきちんとお話ができたらと思っております。基本的には、高原の街づくりで大事にしております、この里山自然を大事にして、地元の育んでいただいた伝統文化というものにきちんと敬意を払っていただきながら、街中であつたり他の高原地域と繋げていただけるような、そんな事業であるべきだと思っております、特に芸術・文化関係に携わっておられます皆さんと内容を詰めていっているところでございます。ですから、具体的には今後のお話になってくるわけでございますが、また皆様方にも、何かその辺りについてもご意見、こういう所があったらいいなとか、そういったことをお聞かせいただけたら、また私もしっかりフォローアップをさせて頂きたいと思っております。冒頭でまとめてお話しして誠に恐縮でございましたが、肉付けの方は公室長をはじめ事務局の方をお願いいたしまして、コロナ対策の方に戻らせていただきたいと思います。何か私が今伺った方がいいことがあれば、お聞かせいただきたいと思いますがいかがでございましょうか。大丈夫でしょうか。それでは具体的にどのように動いているんだということが、しっかりと皆さんに共有できて、それについて地元としての思いだったり意見だったり、あるいは先生方のご意見を聞く機会にして頂けたらと思っておりますのでよろしく申し上げます。

公室長

今市長からお話がありましたが、今日の資料の中に福住校区の皆さまへという市の取組についての資料も一部あるかと思っておりますが、これが先般の福住校区の区長会の方にお邪魔させていただきまして、今までの流れについて市長の方から区長さん方にお話していただいた内容をまとめたものになっておりますので、見ておいていただけたらと思っております。また、総合政策課の方からご説明させていただきますが椽についてと森のようちえんについても、この資料を基に福住校区の区長会で説明をさせていただきました。高原の街づくりの委員さんには本日市長が先ほど申しましたように、具体的にお話をさせていただきますが、先日の区長会でお話させていただいた内容については以上でございます。それでは今日の議題に従いまして、進めさせて頂きたいと思っております。

3. 辞令交付

新たに就任された福住区長会選出の3名、奈良土木事務所長について、辞令交付。

4. 議事

(1) 福住校区における教育について

・小・中一貫校について

事務局

小中一貫校につきましては、令和3年度からということで今進めているところでございます。小規模特認校制度の導入とともに小学校の児童数につきましては徐々に増えている状況でございます。推移を説明させていただきますと、平成29年から小学校の方で特認校の方をスタートさせていただきまして、当初29年度には、8名が入学してきております。続く30年度につきましては4名入ってきております。令和元年度につきましては2名、令和2年度につきましては14名ということで、先ほどもお話ありましたように小学校につきましては現在62名の児童が通っているという状況でございます。徐々に増えてきています。それと併せまして、一貫校の方も福住中学校が福住小学校の校舎に入るという形で計画を進めているような状況でございます。新たな学校名としましてはまだ正式には決まっておられませんけれど、福住小中学校という名前で行く予定になっております。まだ正式でございませぬので、今後正式に決まりましたら改めてお知らせしたいなと思っております。新しい小中一貫校における教育目標といたしましては、3点大きな柱がございまして、1つは「世界に目を向ける」という点です。それと「自立する」という点です。それと「共に生きる」と、この大きな3つの柱を基に子どもたちがいきいきと成長していくような学校づくりをしていけたらいいなと考えております。その中で特に力を入れていきたいなと考えているところは、英語教育です。現在もSkype等を使いまして外国の先生と英語でのコミュニケーションをしながら力をつけていこうという教育を進めておりますけれど、引き続き福住小中学校でも同じような形で英語に力を入れていきたいと考えております。それと併せまして、ICTですね。パソコンやタブレットを使いながら、授業の方も1人1台ということで、家に持ち帰って学習し学校でも使うということで、個々に応じた学習が柔軟にできるような体制づくりをしていきたいと考えております。そして、福住学です。福住のことを子どもたちが好きになる、福住の自然・歴史を大切に子どもたちを育てていきたいと考えております。そして最後4点目の力を入れるところですが、全ての教育に関わります、書くであるとか話すであるとか、自分の考えを子どもたち同士で話し、そして自分の考えをしっかりと表現できるということなんです。中学校におきましてはスピーチ等のコンテストをやっておりますけれど、そういうことで自分の考えをしっかりと表現できる子どもたちに育てていきたいと考えておるところでございます。この4点を中心に子どもたちの力をつけていけたらと考えております。また、これから学校の体系としまして、小学校・中学校一体で進めていくような形ではありますけれど、小学校1年生と中学校3年生では大きく違いもございまして、子どもたちの発達段階に応じまして、小学校単独で行った方がいい行事や活動などは小学校単独・中学校単独で進めていく場合もございませぬけども、みんなで活動した方がよりよい子どもの成長に繋がる活動につきましては、積極的にお互い協力しながら進めていきたいなと考えております。現在の状況としては以上になります。

公室長

今まなび推進課の方から説明させていただきましたが、先ほどお配りしました福住校区の皆さまへの資料で2ページから4ページにかけて市長が小規模特認校の導入から一貫校化へということで今までの流れと意思をまとめたものがございますので、こちらを見ていただいたらと思いますが、説明をお聞きになって何かご意見・ご質問等あればお願いしたいと思います。

委員

タブレットを持ち帰ってということで、持ち帰って自宅のWi-Fi等の通信環境が有る家庭と無い家庭があると思うが、そこはどう対応するのか。

事務局

ポケットWi-Fi等家庭でも使えるもので通信環境が無い家庭には対応しようと考えているような状況です。全ての家庭に対応できるよう検討はしております。

委員

市長もお書きになっていますが、小中一貫教育で9年間を通じた学びを充実させるということで、小中一貫教育で成功例というのを私も過去に見に行ったことがあります。やっぱり柔軟に、部活動など、小学校・中学校の子どもたちが一緒になって、地域の中で子どもを大事にしようというような活動を一緒にするという、そういう事例が成功に結びついてきたように記憶しています。ですので、ぜひ小中一貫教育をされて、先々地元を大事にしてここで何かをしようということに結びつくような、そういう活動を小中一貫教育のなかでやっていただければ、成功例として言えるのではないかと思います。

事務局

福住小中学校が一貫になりますので、それが福住の校区の子どもたち・皆さんにとってより良いものに、成功事例というお話もありましたけれど、そういう1つのモデルになれるような学校にしていければと思っています。

・福住中学校の利活用について

公室長

先ほど市長からお話がありましたが、資料にも5ページに載っていますが、市長自らトップセールスで色んなお知り合いの方に声をかけて頂いています。市の方としましても、広報誌等にも掲載して、何かいい事業がないかということで提案を募集していますが、なかなか無い状況です。市長の方からお声がけしていただいている方に、かなりの数見に来ていただいているのですが、残念ながらこれと言って決め手がなく、皆さん立地条件等の面で気に入っていただいているのですが、事業となりましたら色々問題もあるのか、いまいち進まない状況もあって、これと言って皆さんに報告できるような案件には至っておらず、引き続き、市長も鋭意色々な方に声をかけて展開を考えておられます。皆さんにおかれましても、何かこんなのがいいんじゃないかというご提案がありましたらおっしゃっていただいたらと思いますが、どうでしょうか。今すぐと言われてもなかなか思いつかないかもしれませんが、福住中学校は地元で愛されてきた学校ですので、その建物を廃墟にするわけにはいかないという市長の強い思いがありまして、色々声をかけております。今後も引き続きそういう努力は市としては最大限行って参りますので、遠慮なく総合政策課ま

でご連絡いただいたらと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 移住・定住促進について

公室長

移住定住促進ということで、椽、森のようちえんウィズ・ナチュラ、てんり高原マルシェについてご説明させていただきます。これは先日の区長会の方で椽のメンバーで山田の藤尾さんと福住の中島さんという方が色々進めていただいているのでその方と、森のようちえんについては代表の岡本さんに来ていただいて、区長会の方で説明して頂きました。活動について誠に申し訳なかったのですが、今年に入ってから地元の区長会に積極的に活動等についてお伝えができておらず、そのなかで何をしているのかわからないというお声もいただきまして、遅ればせながらご説明をさせていただいた次第です。街づくり協議会の方では、何度かご説明もさせていただいたのですが、委員さんもお代わりになられていますので、この機会にご説明させて頂いて、これらの活動についてご理解していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

・椽(たるき)大和高原移住促進プロジェクト in 天理について

事務局

- ・会議の実施状況等、前回協議会以降の椽の活動について報告
- ・1年間活動しての実績紹介（9月に2家族・11月に1家族が移住、6家族が現在移住を希望していること等）

・森のようちえんウィズ・ナチュラ、てんり高原マルシェについて

事務局

- ・前回協議会以降の森のようちえんウィズ・ナチュラの活動について報告
あおぞら絵本カフェ、シンポジウム、SDGs カードゲーム勉強会等
- ・てんり高原マルシェの実施状況について紹介
入場者制限等の感染症拡大防止ガイドラインを作成のうえ、6月より再開
6月以降、月に1回山田公民館にて実施（6月・11月は長滝町にてクローズ開催）

委員

この前の区長会で市長のお話をお聞きしましたが、区長会で毎月1回町から町へ等の便りを住民分頂いて各戸配布しています。そこに挟むのは例えば福住公民館や交番の便りやバスの時刻表等、公共に限ったものを挟んで各家に配らせていただいている。うちでも20何件、大きいところだと30~40件に配らなくてはならない。高原マルシェの方に営利目的の物品販売を目的としたチラシを入れてくれと言われたので、迷ったのですが（森のようちえんの方の）地元の者ですので、協力できることはしたいと思ってお受けして区長会に諮ったんですけども、各区長さんからは色々な意見が出まして。なぜこういうものまで私たちが配らないといけない、天理市が後援と書いてあるがどこの課がどのくらいの力で森のようちえんウィズ・ナチュラを支持されて一緒に活性化を図っていこうとされているのか等、よく理解できませんでしたので一度断りました。その次に季刊誌を作ったのでそれも入れてもらえないかということで来たので、もう一度区長会に諮ったのですが、それを

各家に持って行ったときに、なんで町から町へにこんなものが入っているのか、森のようちえんもよく知らないし内容もわからない、それを区長会が町から町へに入れるというのはどこまで住民が関わって動いているものかわからないと、違和感がかなり出てきましたので、今そういったものの配布はお断りをしています。市長のお話や事務局が言われたように、できるだけ活動に関与してみんなで一緒に活性化していこうということですが、そういうことは区長会として積極的に関わっていった方がいいのでしょうか。

事務局

区長会で市長も説明させていただいたかと思いますが、2019年の6月に連携協定を市と森のようちえんとで交わしまして、魅力ある豊かな地域社会の発展に寄与する、子どもの健やかな成長、というところで連携協定をさせて頂いていますので、その事業に対しては全てがOKという訳ではございませんが、豊かな地域を創っていこうというところに関しては、市としても後援をさせていただき、協力させていただいているというところがございます。ですので、市長も言っておられますが、森のようちえんだけではなく、このように市と連携協定できる団体が出てきましたら、そことも連携をさせていただいて、区長会の皆さんにも説明をさせていただいて、協議会にも諮っていくという体制を作っていきたいと思っております。今回区長さんに考えて頂いて、その時には区長会の中で、何者だ森のようちえんはという話が出たと思います。地元の区長さん方はよく知っておられる方もいらっしゃると思いますが、移住して来られた方も多いので色々な意見もあったかと思いますが、地域の方が主にやっていたのかと思いますし、その方々が福住校区にとっていい環境のためになるようにということで動いておられるということについては応援していきたい、という立場をとらせていただいているというところです。

公室長

今課長が申しましたように、森のようちえんと連携協定を結びまして、高原地域の活性化に取り組むと。あとは子どもたちの自然豊かな教育にも一緒に取り組んでいこうというところです。申し訳なかったのはスタートするときに、地域の皆さんにこういう方が来られてこういうことをされますよという周知を、私たちはしたつもりだったのですが、し足りなかったという点があるかと。だからそこで地元の方々にとってこの方たちが何をされているのかな、どこの誰だろうという思いがあったと思います。先日区長さんがおっしゃっていたのですが、中で自分たちだけで固まっておられるような一面や、挨拶等地元の方へのコミュニケーションに欠ける面があるなど、色々なご意見を頂いたというのが現在の状況かと思えます。その中で高原マルシェにしましても地元の方が少ないような意見もお聞きするのですが、地元の方にも外部の方にも来ていただいて高原地区がにぎわう、高原地区が活性化する、というところで一緒にやっていただきたいということから、区長さんや住民の方にはご負担をおかけしていますが、広報誌と一緒に配っていただくのをお願いしているのかなと。市としましては、窓口は総合政策課になりまして、何かありましたら総合政策課の方に聞いていただき、ご意見を言っていたら結構かと思うのですが、地域としては一緒に連携して、高原の活性化に繋がれたらなど。だけどスタートに若干のミスがありまして、高原の皆様にはご不信感を抱かせたのかなということは大いに反省すべき点かと思っております。この前も区長会の後、市長から代表の方に色々お話をさせて頂いていたのですが、やはり地元の方の理解を得て、今後はできるだけ、地元根ざした

活動をして頂くように市としても働きかけていけないかなと思っておりますので、できるだけご協力をお願いしたいなと思っております。

委員

てんり高原マルシェは山田公民館でされていますが、どのくらいの人数の人が来られ、福住校区の人がどのくらい参加しているのかが気になる所です。地元が山田ですけど、1回しか行ってない。今はコロナがあるので参考にはならないと思いますが。

事務局

どれくらいの方が集まっていっちゃって、そのうち校区の方が何名くらいかというのが確認したことがないのでここでお答えできないのですが、次回12月にもまたございますので、その際に人数等出ましたらお伝えできたらいいなというのと、過去の11月はクローズ開催でしたが、10月はどうでしたかというのを聞かせて頂いて、また街づくり協議会ですとか、区長会の方でご報告できればと思います。

公室長

地元の方かどうかというのはなかなか判別できないかと思いますが、お話とか様子を見ている限りちょっと地元の方が少ないかなという印象はございます。できたら地元の方がこぞって来ていただくような形になれば、よりいいのかなと思います。

委員

少ないのは少ないなりに理由があって少ないのか、情報を持ってなくて少ないのか、そこらも気になる所ですけど。

公室長

色々課題もあるのかなという思いはしておりますので、遠慮なく仰って頂いて。

委員

出品される方というのは、どういう過程で出品しているのか。地元の者に声もかかっていないということなので、勝手にしているというように地元の人思っています。私も山田からは離れていますけれど、地元の人に1度声をかけて、こういうことをするので出品してくれないかという話があって、それから他の人にも声をかけられたらよかったんだけど、地元の人にはほったらかしで気の合う者でしょうというのがあったので、ボタンの掛け違いが最初にあった。自分たちが勝手にするんだったら勝手にすればいいわというふうな感じになってくるし、それで声をかけに行ったら私たちは市長さんと話をしているから関係ないというふうな感じで話されるので、向こうも具合が悪い。私たちは違うというような感じで言われるし、どうなっているのだろうと。そういう人のところの配りものをするのかとなると、日ごろ会う人に余所者の肩持って村の者の肩は持たないのかというような感じで言われるので、そこらも困る。やっていることはいいことだと思うけれど、やはり段階を踏んで、下の人にみんな声をかけてから行事を進めてくれて、畑のもの1つでも持って行くわとか、お餅だけでも持って行こうかというふうになればいいんだけど、最初に聞いたなら奈良市の人だとかばかりで地元の者がほったらかしなので、それを聞いたなら勝手にしたらいいというふうになるというような話を聞かせてもらったので。もうちょっとそのあたりを上手くフォローしてあげてもらったら、もっと地元の人とも上手くいって、こんなことも言わなくていいと思う。

公室長

今いただいたご意見は先日区長会で皆さんからのご意見を聞いて痛感したところでして、市長からも直接代表の方にお話をして頂いています。今後も今頂いた意見は森のようちえんにも伝えさせていただいて、やはり地元の方にも愛されて喜んでいただいで、共に創れるようなマルシェになればいいと思っておりますので、向こうの方とは話を継続的にさせて頂きしますので、ご理解の程よろしくお願ひいたします。

(3) その他

- ・公共交通について
- ・移動販売の実績について

事務局

次第の最後の方ですが、コミュニティバスの10月からの利用状況です。緑の枠内ですが、その報告になりますので、見ていただいたらと思います。皆様のご協力を得まして、10月から以前は苜原で止まっていたコミュニティバスを山田町まで延伸させていただいて、その代わり走っていた路線バスはなくなったのですが、今までは福住校区内を走っているバスは1日2本、山田から天理駅まで860円くらいかかっていましたが、これが10月から延伸させていただいて、金額の方は300円、本数は1日4往復と変わりましたので、以前は利用できないなと思っていた方もおられたと思いますが、これなら利用しようかなと思っていたらいいかなと思います。これから高齢化がどんどん激しくなしまして、自分で車を運転して天理駅まで下りられない方がおられると思いますので、ぜひこれを利用していただけたらありがたいなと思っています。これも数だけの話なんですけど、東部線の利用者が1,077人ということで、路線バスもありますので一概にこれだけ純粋に増えたということではございませんけれども、皆さんに利用していただいているんじゃないかなと思っていますのでございます。それにつれてデマンドタクシーというのも市が運営しておりますので、乗合で所定の乗降所まででございますが、バスよりさらに近い皆さんの村の集会所に乗降所があります。これも少しやり方を変えまして、今までは藤井町や仁興町も含めて大きな括りで運行していたんですが、それを福住校区だけに絞ってという形になりました。乗合ですので何か所も回ってくるということになりますから、より広い面積でまわっていたらそれだけ時間がかかりますので、予定の時間にタクシーが来ないという不利益もあったかと思ひます。今ご利用されていた方は、これがより乗降所の数が少なくなりますので大体思っていた時間に、まあそれでも広いので若干時間のズレはございますが、タクシーが来て天理駅まで乗っていただけるという形に変えましたので、出来たらこちらでもご利用いただければと思ひしております。コミュニティバスにつきましては、本来苜原線については年末の29・30・31はお休みというふうにさせて頂いていたわけですが、利用者の方から要望がございまして、年始は仕方がないが年末は動かして欲しいとのことだったので、お配りしているパンフレットは年末年始は運休となっておりますが、年末だけはコミュニティバスを運行させていただきますので、何か市街に下りるとか市街から上がってくるとかの用事がありましたらご利用いただけたらと思ひます。片道だけ誰かに送っていただいで片道だけバスを利用するという方法もございまして、どんどん利用していただければと思ひしております。

もう一つ奈良コープでございますが、奈良コープとの連携協定をさせて頂いております、これも純粋に商売を助けるということではなく、現在高齢化の波も押し寄せてきて買い物難民というのが増えてきたと認識しているところですが、これについてコープさんに協力していただいて、地元の住民の方々の足元まで食品を積んだ車で走っていただくことによって、利用する方も選ぶ楽しみがありますし、わざわざ駅まで行かなくてもいろんなものが買えるという形が実現できているということでございます。これについてはコープも営利と言えど営利なので、収入が無いとやっていけないところでございますが、今のところ皆さんに喜んでいただいているということだと思いますが、買っていて運営が継続していけるというところでございますので、ご利用いただいておりますということで報告させていただきます。これからまた高齢化が進みましたら今言っている買い物難民や交通の問題が出てきますので、これが全てではなく今後は協議会等々でご意見をいただきながら、より良い社会というか地域を創っていきたくと考えておりますので、こういう機会がございましたら、ご意見いただけるようであればまたいただければと思っております。

公室長

今説明させていただきましたが、何かご意見等ございますでしょうか。

委員

コミュニティバスの話ですけど、まだ10月に始まっただけですけど、線を拡大することは考えられるでしょうか。別所とか鈴原とか小野味とか。

事務局

今運行させていただいて、今まだ実証運行の途中になりまして、本格運行が始まるというところでございますが。今現在バスの運転手さんが1人にバス1台で運行しておりまして、限界ギリギリまで時間を使っているというかたちになります。バスの運行時間というのは、何時間走ったら何時間休む、1日で1人の運転手が運転できる時間はこれだけ、というのが国の法律で決まっております。それが守れないと例えば事故を起こしたときや問題が出てきたときに、過剰運転だろうということになりますので、それで天理駅からの4往復というのがギリギリということになります。先ほども言いましたようにこれが全てではございませんので、ゆくゆくは、そういう要望がありましたら。ただ、1便増やすということになりますと、数千万という予算がかかってしまいまして、なかなか本数増やしますということを私もこの場で申し上げることができませんので、状況を見次第、将来に向かって検討したいと思っております。

委員

確かに天理駅までがここで1時間くらいなので、それだけまわると天理へ行きたい人が時間がかかるので、どうにもならないかというのものもある。

事務局

デマンドタクシーもありますから、それと上手く併用していただいて公共交通を使っていいただければと思います。

公室長

このバスを運行させていただいて、今まで小学校の子どもたちが名阪で降りまして、そこから学校まで福住の校区の方にボランティアで見守り活動をしていただいております、非常に

ありがたく思っています。どうもありがとうございます。市内全般の話ですが今後ますます高齢化していくなかで、みなさんの足をどう確保していくかということが大きな問題になってきます。皆さんのお知恵をお借りしながら、問題解決に向けて取り組んで参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。何分バスも利用していただかないと運行できなくなってしまいますので、コミバスをできるだけご利用していただいて、また、移動販売も同じなんですけど、地域の方にご利用していただいて、継続できるようになれば幸いですので、できるだけご利用の方よろしくをお願いします。

委員

高原地域の地域活性化で各地区で色々な取組をしてくださっていると思います。コミバスの時間を延ばしていただいたので、ありがたかったなと思います。延ばしたら延ばしただけ利用者数が増えたので良かったです。

椽は若い方が活動してくれているようなので、活動が花咲くように皆さんで盛り上げていっていただけたらなと思います。

椽は最初から近所の人が入っていたので、市役所にも問い合わせたりして、そんなことしているんだというのもわかってきた。地域の間人として、だんだんみんな亡くなっていく、家もなくなっていくというのを身近に感じていますので、来てもらうというのは非常にありがたいと思っています。みんなが挨拶など声を掛け合える、地域の中に入り込んでくれる人が来てくれるならありがたい。つつけんどんなようではどうも具合が悪い。

過疎の問題というのは高原地区・福住だけでなく、奈良県中にございまして、また日本全国同じような状況で取り組まれていると思います。小学校中学校の問題であったり定住とか、空き家が出てくるとか、公共交通がなくなってくるとか、買い物難民のことなど、全国的な課題でございます。それを色々課題があるでしょうけど、こういう取組をされるというのはぜひ頑張っていたら。簡単にはいかないでしょうけど、市長も頑張っておられるようですし、奈良のモデルになるように。ここで上手いけば他でも活用もされるでしょうし、また参考にさせていただきます。

福住小中一貫校のところをお願いがあるんですが、小学校のグラウンドの東側に小さいので30センチくらい、大きいところで2メートルくらいの穴が開いていて。歩いたらふかふかで、いつ底が抜けるかわからない状態。小中一貫に向けて工事もされると思うので、グラウンドをどうにかしてもらいたいなど。このまま放っておいて小学生がはまったら怪我をするので。怪我してからするなら、今この段階でもらった方が保護者も喜ばれると思う。

今日会議に参加するのに一本松から井之市へ向いてきたら、交互通行の信号機が置いてあった。拡幅工事の関係か。今日は奈良土木の所長さんも来られているが、今日初めて気

がついたがいつから設置されていたのか。

(奈良土木)

25号線の拡幅工事は西に向かってずっと伸ばしていきますので、1年2年では終わりませんが、何年かに渡って少しずつ予算もとっています。今はその工事の始まりぐらい。(交互通行の信号機は)今後工事が始まっていきますので、安全対策でつけたと思います。昨年ぐらいから毎年200メートルぐらい延長で工事をさせて頂いていますので、順次予算を確保しながら、毎年少しずつになるんですけど、200メートルずつぐらい、毎年進めさせて頂いていただこうと思っています。だいたいこの時期ぐらいから契約させてもらって、年度越して契約させてもらっています。順次進めていこうと思っていますのでまたご協力よろしくお願いします。

中学校の校舎の利活用について、JA福住出張所の裏手の土蔵も事業に入っていると聞いていますが、そこが氷まつの茅の収納場所でもございますので、その辺決まっていれば聞かせて頂きたい。最近聞いた話によりますと、事務所まで計画に入っていると入っていないかとか。

(事務局)

地区計画というのを作らせていただこうと思っております、その中で福住中学校だけではなくておっしゃるようにJAや郵便局も入れて計画をたてていこうという中で、そういう話ができたという段階でして、今すぐ土蔵で何かをさせて頂いて、入っている茅をどけさせて頂いていただくということではないです。JAにもその話は確認させて頂いてもらいましたが、JAとしてもすぐに壊すとかいうことは考えておられないようで、方針が決まり次第どうなるかはわからないという話ですのでいつまでとはわからないですが、すぐに壊して茅も出してという話ではないですし、もしうちがさせて頂いていただくとしてもこれからですので、どなたか入っても茅をどかしてということではなく、共存しながら使わせていただけたらと思っていますので、それは今後話し合いをさせて頂きたい。

公室長

他に何かございますか。ないようでしたら今日はこれで協議会を終了させて頂きたいと思います。

1. 閉会 —19時45分—